「コリアミルテン」ト「ツチン」トハ動物ニ對スル毒性非常ニ似テ居リ毒力ハ前者ノ方ガ著ク强イ、どくぜりノ「シクトキシン」、いけまノ「シナンコトキシン」等ト共ニ痙攣毒ニ屬シ其中毒症狀ハ最初呼吸興奮ニ次デ强イ痙攣ヲ發シ遂ニ窒息ニヨリテ死ニ至ル、此ノ急性中毒ニハ阿片劑ガ比較的ヨク奏効スル、「ツチン」ハどくうつぎニアリテハ主トシテ種子中（含量約〇・二%）ニ存スルガ木下氏ノ實驗ニヨレバ果實ノ外面ヲ包ム多漿ナル宿存性花瓣（卽チ淡紅色ノ美シイ部分）ニモ少量ヲ含有スルカラ果汁ヲ嚥下スルダケデモ危險デアル、ニュージーランドノ土人ハ C. sarmentosa Forster ノ熟果ヲ搾リテ得タル汁液ヲ醱酵セシメ酒ヲ造ッテ飮ムソウデアルガ成熟及ビ醱酵ニヨリ「ツチン」ガ減少シ又ハ消失スルトシテモ危險ナ飮料デアル

○今後ハ japonica, koreana, formosana 等ノ語ヲ用キテノ命名ヲ全廢セヨ

池田政晴

日本ノ植物志ヲ見通シタ所 japonica 等ノ種名ガ甚ダ多イ、コレヲ全廢セヨト言フノガ私、否、日本人全體ノ主張デアル、既ニ定マッタモノハ何トモ致シ難イトシテ今後ノ命名ニハ斷然之ヲ捨テ、nipponica 等ノ種名ヲ大イニ用ヒ度イト思フ

今更憲法第一條ヲ引張リ出スマデモ無ク我國ガ日本 Nippon デアル事ハ分リ切ッテ居ル、コレノ語尾ヲ變化シテ正シク nipponica 等ヲ種名ヲ用フベキデ japonica 等ノ變ナ訛ハ今日限リ永久ニ止メルベキデアル、Japon ノ語源ハ勿論日本 Nippon ニアルガマルコポーロ等ニヨッテ轉々誤ッテ外國ヘ傳ヘラレタノデアル、ソレ故維新前後我國ニ來タ外人或ハ來ナクテモ日本產ノ新種ヲ發見スルト先 japonica 等ノ名ヲ好ンデ付ケタ

併シ今日ノ日本人ガソレニ倣フ必要ハ少シモ無イ卽 Japon トカ Japan トカ云フ語ハ何モカモ外人ノ意ヲ迎ヘテ

自ラヲ卑メタ歐米心醉時代ノ遺物ニ過ギナイ、昭和ノ今日ハコンナ語ハ地球上カラ一掃シテ死語ニシテ仕舞ヒ世界ニ向ッテ日本 Nippon ト大聲デ呼ビカケルノガ當然デアル

此頃ハ新種ノ發表ヲ見テモ japonica 等ノ種名ハ餘程少イガ近クハかわごけそう Cladopus japonicus ノ例ガアル併シ此事ハ寧ロ下等植物ヲ外國ノ專門家ニ送ッテ命名ヲ受ケル時ニ起リ易イ、例ヘバ Brotherus 氏ガ命名シタ ささをかごけ Sasaokaea japonica ノ如キモノガ多イ、ダカラ誰カ外國語ニ達者ナ方ハ此事ニ關シテ名文ヲ認メテ彼等ノ注意ヲ喚起シ更ニ此次ノ萬國植物學會議ニ持出シテ大イニ主張スル所ガアッテ然ルベキデアル

此事ハ植物界ニ限タ事デハナイ、日本人ハ外國ニ對シテ自分ノ立派ナ國號ヲ全ク用ヒナイ、手紙ニモ、商品ニモ、公文書ニモ Japan デアル、何ト情無イデハ無イカ、實際考ヘヤウニヨッテハ事國家ノ尊嚴ニ關スル重大問題デアル、我々ハ先植物界ノ事カラ之ノ改正ニ着手シヤウ

勿論日本ニモ先覺者ハ無イデハ無イ、nipponica 等ノ種名モ少シハ用ヒラレテ居ル、又牧野田中兩先生共著ノ日本植物志ニモ A Manual of Flora of Nippon. トアリ、近クハ本誌ニモ牧野先生ハ頻リニ Nippon 又ハ Taiwan 等ノ文字ヲ用ヒラレテ居ルノハ當然トハ言ヘ眞ニ愉快デアル

願ハクバ此事ガ早ク一般ニ實行サレン事ヲ、又願ハクバ外國語ニ達者ノ方々ガ名文ヲ以テ此意ヲ外國人ニ傳ヘテ之ヲ實行セシメラレン事ヲ　（六、三、三〇、京大理學部ニテ）

○けんぽなし語原ノ一考

栃木縣宇都宮市　中村正雄

植物研究雜誌第七卷第三號ニ於ケルけんぽなしノ記述文ヲ讀ミ興味ノ餘リ左ニ東北地方ニてんぽト言フ言葉ガアリマス、其ノ例ニてんぽもない（眞實ラシカラヌ或ハ飛ンデモナイノ意）其レ